

剣対杖技法のチェックシート (ver.211107)

廿日市合気道クラブ

剣対杖は3種類以上、止めがかかるまで続ける。まずは杖先と剣先を合わせて間合いを確認する。取りは右相半身の自然体で、右手で杖を持ち、杖先は受けの目線に結ぶ。受けは中段の構え。

A. 受けは正面打ちのために上段に振り被る。取りは振り被りつつ右に轉身し、杖先を回して振り降ろした受けの小手を抑える。

①□右相半身、正面打ち、一教

小手の抑えを外したら受けが再度振り被るので、受けの左膝を打ち下ろした後に右手で杖を引き上げて杖で左半身を防御する。逆手打ちで受けの小手又は肩を打つ。右手で杖を引き上げて受けの側頭を打つ。受けに近づき、受けの喉元に杖先を突きつけて残心。

B. 受けは正面打ちのために上段に振り被る。取りは振り被りつつ右に轉身し、杖先を回して受けの喉に突きつける、または左小手を制する。左手で杖の前を逆手に取り受けの右膝を打ち下ろした後に、剣を振り下ろした受けに近づき、喉元に杖先を突きつける。取りが受けを突くと、受けは右足を一步引いて再度振り被る。

②□右逆半身、片手取り、二教

左手で杖の前を逆手に取り受けの顎を打ち上げた後に、右手で杖を引き上げてから受けの側頭を打つ。剣を振り下ろした受けの左側方に近づき、受けの喉元に杖先を突きつけて残心。

③□右逆半身、片手取り、三教

受けの右脇を打つ。右手で杖を引き上げつつ左手で受けの顎を打ち上げた後に、右手で受けの側頭を打つ。剣を振り下ろした受けの左側方に近づき、受けの喉元に杖先を突きつけて残心。

④□右逆半身、片手取り、四教

受けの左脇に追い突きを行い、右手で杖を引き上げつつ左手で受けの顎を打ち上げた後に、右手で受けの左側頭を打つ。剣を振り下ろした受けの左側方に近づき、受けの喉元に杖先を突きつけて残心。

⑤□右相半身、片手取り、四方投げ

腰を引いて溜を作り、左手で杖の前を逆手に取り受けの右膝を打ち下ろした後に、受けの左側から後方に抜け、右手で杖を引き上げて受けの後頭を打つ。杖先を受けの首元につけて残心。

⑥□右逆半身、片手取り、回転投げ

腰を引いて溜を作り、左手で杖の前を逆手に取り受けの右膝を打ち下ろした後に、受けの左側から後方に抜ける。さらに転換し受けの右脇を打つ。左手で杖の前をとり右手で受けの側頭を打つ。剣を振り下ろした受けの左側方に近づき、受けの喉元に杖先を突きつけて残心。

C. 受けは正面打ちのために上段に振り被る。取りは振り被って右手で杖を引き上げつつ左手で受けの顎または小手を打ち上げる。左に轉身し、右手で受けの右側頭を打った後に小手を制する。

⑦□右相半身、片手取り、二教

左手で杖の前を取り、受けの剣を左に払う。右に轉身せずに、振り被った受けの左小手を抑えた後に、左手を引き上げて杖先を受けの喉元に突きつける。左手で受けの右側頭を打ちつつ、杖を回転させて持ち替える。杖先を剣を振り降ろした受けの喉元に突きつけて残心。

⑧□右相半身、片手取り、三教

小手の抑えを外したら受けが再度振り被るので、右に轉身して、左手で杖を引き上げつつ右手で受けの顎または小手を打ち上げる。左に轉身し、右手で受けの右側頭を打った後に杖を順手に持ち替え、剣を振り降ろした受けの喉元に杖先を突きつけて残心。

D. 取りは左逆半身で自然体。受けは中段の構えから右八相の構えとし、右袈裟に切り込む。

⑨□左逆半身、横面打ち、五教

取りは左手で逆手に杖先を取り左手で受けの剣を払う。左に切り返して受けの右側面に剣を押し返す。受けの脇が開いたところで、杖先を回しこんで左手を引き上げて杖先を受けの喉元に突きつける。左手で受けの右側頭を打ちつつ、杖を回転させて持ち替える。杖先を剣を振り降ろした受けの喉元に突きつけて残心。

以上